AGCのインナーウインド madoまどまど
ワイタ株式会社
松原市三宅中8-5-37 建材部 ☎(072)331-4683

令和7年（2025年）6月9日（月曜日）
第3363号（旬刊 第1、2、4月曜日発行）
発行所 ㈱ガラス新聞社
〒531-0064 大阪市北区国分寺2丁目1番14号（アコム天六ビル）
電話06(6354)5106 FAX06(6354)5108
編集発行人 野口孝則
THE GARASU SHINBUN
ガラス新聞
板ガラス・サッシ・カガミ・ガラスブロック・プラスチック建材
ホームページ https://www.glass-news.jp/
昭和23年5月17日 第三種郵便物認可
購読送料共1カ年10,950円

細身な自動ドアJA100
既存開き戸からの自動ドア化に最適
高性能と小型化を両立
JAD NPO法人全国自動ドア協会 会員 日本自動ドア株式会社
TEL 03-3970-2511(大代)

大阪市住まい公社

既存賃貸住宅における開口部断熱改修を実施

施工性・費用対効果を検証

先日、日本板硝子S&S㈱（本社＝東京都、大野義之社長）の紹介で大阪市北区にある大阪市住宅供給公社（愛称・大阪市住まい公社）の企画部を訪問し、「既存賃貸住宅における開口部断熱改修」についてお話を伺った。出席者は、同公社企画部企画事業課企画調整担当課長・後藤裕司氏、同課担当係長・渡邊晋氏、同課・川崎翔悟氏、それに今回の窓改修工事を施工した、日本板硝子S&S㈱・有村俊秀部長、井関雅也主席も同席した。

川崎氏の説明によると、既存の公社賃貸住宅において開口部の断熱改修を実施。施工性・費用対効果などについて検証・情報発信を行うとし、検証内容については①温湿度測定②アンケート・ヒアリング調査③電気代・ガス代の調査を行った。今回の検証目的は、本事業の調査結果を活用し、賃貸住宅の省エネルギー効果と健康面等の価値（QOL）向上効果も併せた情報を発信することで、賃貸住宅の省エネ化に資する行動を促進していくことを目的としている。

現状の課題として大阪市内における、省エネルギー設備等の対応状況をみると、所有関係別では持ち家に比べて借家の方が、建て方別では、一戸建てに比べて共同住宅の方が、省エネルギー設備の設置状況や窓の断熱性に配慮された住宅の割合が低くなっており、これは、いずれの割合も全国と比較して大幅に下回っている。

大阪市住まい公社としては推定原因として①賃貸住宅の省エネ化による入居促進効果②工事費をかけて省エネ化しても、賃料に反映できるか③省エネ化に要した改修工事費用をどれくらいで賃料回収できるかとし、これらを明確にすることにより大阪市内の賃貸住宅の省エネ対策の推進に寄与すると考えるとした。

発信内容としては、入居者の快適性や節約の意見、住みやすさ、家賃アップの許容範囲、工事費用などのデータを集め、それをSNS上やいろいろな媒体で記事にして広めたいとしている。

☆事業工程

①内窓設置工事、ガラス交換工事（完了）②温湿度測定＝2024年12月1日～2025年2月28日（完了）、2025年7月1日～同年9月30日（予定）、同年12月1日～2026年2月28日（予定）③アンケート・ヒアリングを測定完了後に実施（全4回実施予定）

☆工事内容（全8住戸で実施）

・内窓設置工事（6住戸実施）＝樹脂内窓、単板ガラス3㍉

・ガラス交換工事（2住戸実施）＝真空ガラス6.2㍉、現使用のアルミサッシはそのまま

☆対象住戸基本属性

子育て世帯＝4世帯、高齢者世帯＝3世帯、夫婦共働き世帯＝1世帯

年齢層20代～90代まで21人、子ども5人

☆住戸情報

住戸専用面積59・75平方㍍と69・20平方㍍のタイプ

☆工事比較

ガラス交換工事は、ガラス交換のみで、簡単に施工ができ、いままで通りに窓の利用ができる。一方、換気小窓の部分がガラス交換できず、また、既存のアルミサッシをそのまま使用したため、断熱性能は内窓と比較すると劣る可能性がある。内窓は、断熱性能は良いが、窓の開け閉めが煩雑になるという面もある。

施工後の入居者の声としては、防音効果向上を上げる住戸が多かったという。大阪市住まい公社としては、これらのデータを纏め、大阪市内にある共同住宅等のオーナーに窓の断熱改修を勧めたいとしている。

記者の目 公社が行っている調査は2050年のカーボンニュートラル達成に向け、大阪市内で遅れている共同住宅の窓改修を促進すること。今回は、同公社が管理している2768戸の内8戸を改修した。調査結果次第では、公社が管理している物件のすべてを改修すると思っていたが、予算の関係でそういうことでもないようだ。市公社の予算に課題があるのなら、住民に負担してもらうことを考えてよいのではないだろうか。今なら、住民は補助金の対象にもなる。公社の規約を変更し、出ていくときに、原状復帰しなくても良いという条件にすれば、住民は窓改修を行い、賃貸物件でも断熱改修は進むのではないだろうか？

渡邊氏（左）と川崎氏

ひのまるチェーン 2025年度定例総会を開催

ひのまるチェーン東京支部 「活動を会社経営に」

芹沢会長が挨拶

日本板硝子の販売店で組織するひのまるチェーン東京支部（芹沢幸明会長）は5月22日（木）、東京都新宿区西新宿2丁目、京王プラザホテル5階コンコードD・Eを会場に2025年度定例総会を開催し、2024年度活動報告及び決算報告、25年度活動計画及び予算案の2議案を承認した。

午後2時に開会した総会の冒頭、芹沢会長（㈱芹沢ガラス社長）は「当支部は40年の歴史があり、これまでに640回位の会合を重ねてきた。東京支部の会員数は現在645社。コロナ禍と後継者問題もあって会員は少しずつ減少しているが、皆さんは何かを得ようと来ていると思うので、ぜひこの総会で要望などを聞き会社経営に生かしていただければと思う」と挨拶した。

ひのまる会会長の松本浩志氏（マテックス㈱社長）は「これまでの環境に目を向けると、今までの考え方から転換することが求められている。リフォーム事業も次のフェーズに向かっている。窓事業の私たちがどういう方向に力を入れていくべきなのかが問われている。リフォーム事業ではガラス屋さんとサッシ屋さんが70％以上貢献している。底力を発揮し変化が感じられる年にしたい」と述べた。

日本板ガラスビルディングプロダクツ㈱執行役員東日本支社長の山崎大輔氏は「支部活動では会員の交流、意見交換は大事だが、今はサステナブルをキーワードに運営している。持続可能な経営には個社の頑張りと物流、リサイクルといった業界全体で取り組んでいく課題がある。人材の採用、育成面でも業界が魅力的でないと人は集まらない。政府の補助金にしても一過性に終わらすのでなく、我々の活動が業界の後押しになればと思っている」と話した。

議案審議の後、休憩を挟んで講演会を開催。人工知能研究者で随筆家、日本ネーミング協会会長でもある黒川伊保子氏（㈱感性リサーチ代表取締役社長）が「人生に効く脳科学～脳が創りだす男女のミゾ、人生の波～」をテーマに1時間20分講演した。

黒川氏は長野県生まれ、栃木県育ち。1983年奈良女子大理学部物理学科卒業。ヒトと人工知能の対話研究の立場からコミュニケーション・サイエンスの新領域を拓いた感性研究の第一人者。脳の気分を読み解くスペシャリスト（感性アナリスト）である。人間関係のイライラやモヤモヤに“目からウロコ”の解決策をもたらす著作が多い。「妻のトリセツ」をはじめトリセツシリーズは累計で100万部を超えた。

終了後、参会者は同ホテルで懇親会に臨み歓談した。

挨拶する松本氏

挨拶する芹沢会長

黒川氏

山崎氏

ひのまるチェーン大阪支部 新会長に藤井靖彦氏が就任

日本板硝子の販売店会・ひのまるチェーン大阪支部は、5月21日（水）に大阪市内にある住友クラブ3階多目的ホールにおいて、約80名の会員・関係者等が集まる中、盛大に「ひのまるチェーン大阪支部定時総会」を開催した。

任期満了に伴う役員改選では、奈良・藤井ガラス代表の藤井靖彦氏が新しく会長に就任した。

総会開催に先立ち、当会会長があいさつするところ、山下会長は健康上の理由で会長を退任、当日は欠席のため、監査役の藤井靖彦氏が山下会長に代わってあいさつし、「山下氏は、私が知っている範囲では、約30年以上会長をやっておられ、有難かったと感謝申し上げたい。私は小さいころ大阪万博に何度か行った。その時、アメリカ館やソ連館に何時間も並んだことを記憶している。当時は今ほど暑くはなかった。関西万博は開催後1週間目に行った。非常に暑い日だった。大屋根リングは日陰になるがあれがなかったら大変だ。夏のフェスティバルは8月の第一日曜日と決まっているが、これだけ暑くなると、時期を考慮したい。子供さんらにもたくさん来てもらいたいので、日程は変えたいと思っている」と述べた。

続いて日本板硝子ビルディングプロダクツ㈱執行役員大阪支店長・奥野高広氏があいさつ。参加者にお礼の言葉を述べた後、最近の関西の景気動向について「どこに行っても観光客の方をたくさん見かける。大阪府だけで1400万人こられているそうだ。大阪府の人口は900万人に達していないので、そう思うとたくさんの外国人の方に来ていただいている。そういう面では、関西経済は、活気があって良いのですが、都市部から少し離れると昔とあまり変化がなく、都市部になんでも集中している。全体でみると、非居住分野は、着工延床面積は前年の86％となって厳しい状況になっている。本日は関西経済のこれからの展望ということなので、皆さんにとって、なんらかの形で役立てていただければと思う」とあいさつした。

定時総会では、役員改選が行われ、2024年度の活動報告ならびに会計報告、2025年度の活動計画案や予算案などを審議。賛成多数ですべて可決した。

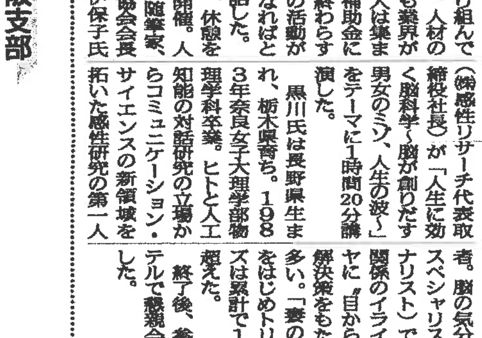
毎年夏のフェスティバルは8月開催となっているが、今年は夏の暑さを考慮し、10月開催に時期を変更することになった。

後半の講演の部では、基調講演として「関西経済のこれからの展望」をテーマに、読売テレビ報道局特別解説委員・高岡達之講師が約1時間講演した。高岡氏は、注目の関税問題や関西万博の話題を交えながら関西経済についてわかりやすく解説していた。

この後、日本板硝子からの連絡事項として同社の内藤弘光氏より「大阪市住宅省エネ改修促進事業」の概要についての説明があり、その後懇親会も行われた。

新会長の藤井靖彦氏

奥野執行役員大阪支店長



大阪支部総会の模様

都硝協第77回通常総会

業界の地位向上を

坂内理事長が訴え

東京都板硝子商工協同組合（坂内英明理事長）は5月28日（水）、東京・平河町のホテルルポール麹町2階サファイアで第77回通常総会を開催し、令和6年度事業報告及び決算、7年度事業計画案及び予算案など全5号議案を原案通り承認した。

午後4時に開会した総会には組合員195人のうち159人（本人43人、委任状116人）が出席し、上平昌秀専務理事の司会で進行した。石川明彦副理事長による開会の言葉に続いて坂内理事長が挨拶した。

坂内氏は総会と懇親会を通じ「人材不足、資材高騰といった苦労もあるが、ガラス業界ではリサイクル、防犯関係などで新しい事業が生まれようとしている。建築の3要素は鉄、コンクリートとガラス。我々はガラスを担っている。他団体と協力し、業界の地位向上を目指していきたい。新しい情報を素早くキャッチし、組合員の皆さんに提供していく。組合員は減少しているが、一緒に事業を進めていきたい」と述べた。

事業活動では「年明けに大阪で技能グランプリがある。青年部にはぜひ優勝していただきたい」などと述べた。

次いで、物故者に黙祷を捧げた後、令和6年度購買事業の上位3支部を表彰した。第1位は練馬支部で購買額は約468万円、第2位は足立支部で約423万円、第3位は下谷支部で約230万円だった。各支部代表者に坂内理事長が記念品を贈呈した。

議事では中野支部の北原源之支部長を議長に選んで議案を審議した。令和6年度事業報告によると、組合員数は6年度末時点で193人と前年度末の213人から20人減少。今年4月に2店が新規に加盟したため、7年度当初では195人となっている。

技能検定関係では、6年度技能検定試験の1級合格者数は14人（合格率52％）、2級合格者は3人（同75％）だった。第5号議案では監事補充選挙を実施し、多摩東支部の斉藤淑忠氏を新監事に選出した。

終了後、2階ルビーで懇親会を開催した。多数の来賓の中、日本板硝子ビルディングプロダクツ㈱東京支店硝子建材販売グループ課長・高木洋輔氏は「ガラス業界は近年、挑戦とチャンスの場に多く直面し、ガラスの高機能化が進んでいる。業界自体がカーボンニュートラルに向け必須の業界になっていると思う。皆さんと一緒に前に進めていけたらと思う」と祝辞を述べた。

関東板硝子卸商業組合理事長・田中慶氏は「建設産業は我が国の牽引役といわれ、我々は地域社会に窓を提供する。そういう意味で環境も国土強靭化も我々がやらなくてはならないが、本気でやるとなると、人が足りなくなる。技能労働者の確保、育成は重要な問題。物流はタイトになるが、お互い一緒に回すようにしていきたい。リサイクル、パレットと次々と改革が進んでいる。いよいよガラス産業も発展段階に入ってきた。一緒に盛り上がっていきましょう」とエールをおくった。

全硝連会長／関東甲信越地区本部長・宮代茂氏の発声で乾杯し、立食式の懇談に。都硝協相談役・松原嘉一氏による中締めで閉会した。

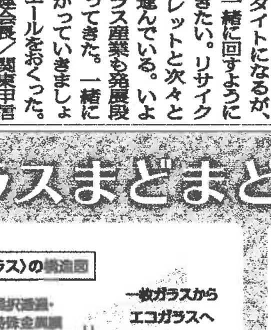
挨拶する坂内理事長

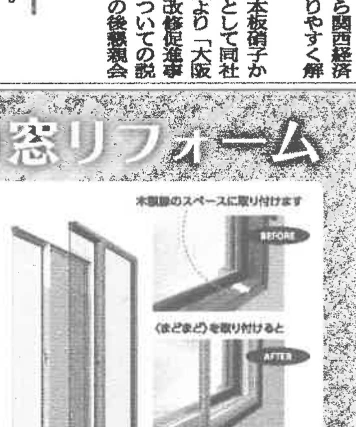
祝辞を述べる高木氏

田中氏

総会の模様

窓の悩みを解決します
株式会社タナチョー
省エネ窓 防災・防犯窓
◆ガラス ◆サッシ ◆樹脂
販売・設計・施工・リフォーム
http://www.tanacho.com/
国内ネットワーク／関東・関西・九州

AGCのペヤプラスまどまどで簡単・エコ窓リフォーム
＼ガラス交換／
ペヤプラス®
既存サッシのガラスを
高遮熱・高断熱の
エコガラスに交換します
省エネ・節電 ＋ 冬の寒さ・夏の暑さ 対策


＼内窓設置／
まどまど®
住宅用二重窓
マンションでも
専有部に取付可能
省エネ・節電 ＋ 防音対策


AGC Your Dreams, Our Challenge
AGC株式会社 建築ガラス アジアカンパニー 〈製造・販売元〉AGCグラスプロダクツ株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-24-11 グローバル・ワン上野
お問い合わせは、AGCが運営する建築用ガラス総合サイト「ガラスプラザ」のお問い合わせフォームをご利用ください。▶ https://www.asahiglassplaza.net/